

みやさぽ通信



VOL. 9

2022年9月15日
<http://www.miyasapo.net>

認定NPO法人 みやっこサポート

〒662-0034 西宮市西田町 6-5

e-mail : kuma@miyasapo.net

TEL (0798)81-5301 FAX (0798)81-5302

ご挨拶

Try(寅)の年!と希望に胸膨らませた 2022 年は、新型コロナウイルスが収束する気配のない中にウクライナ戦争が勃発。長引く閉塞感に追い打ちをかけるような出来事が起こり、世界中が重い空気に包まれました。そんな息苦しい社会に、生き辛さを抱える子ども達は更に苦しさを感じ、外とかかわりを持てなくなった高齢者が急激に衰えている状況が見えてきました。私たちはこの中で何をすべきか、悩み、考え、話し合いながらこれまで活動を続けてきました。

まずは子どもの居場所の環境整備。ゴールデンウィークを利用し、スタッフ総出で改装した、新しいカーペットが敷きつめられ、漫画が並ぶ部屋で、IROHAの子ども達は、本を読んだり、寝転んだり、それぞれ好きなことをしてくつろいでいました。

食のサポート『みやっこ弁当』は西宮市の補助金をいただき継続。更に、昨年より開始したフードパントリーをコープこうべ、フードバンク関西、個人の心ある方々に食材を提供いただき実施。毎月2日間、コロナ禍で生活が苦しくなった方を中心に、必要な方にお配りしてきました。

4月からは WAM 助成金をいただき、『フリースペースIROHA』(不登校の子ども達の居場所)を週1日から2日に増やし、相談支援や学びの機会『IROHAらぼ』を拡充。新たに『生活サポート事業』の本格的な実施に向けて準備を進めています。



『事務所の改装』



『2022年度スタッフメンバー』

このような活動でサポートを受けられた方より、多くの喜びの声、感謝の声をいただいております。そして、その声や元気を取りもどしていく子ども達の姿に、我々もまた元気をもらっております。

皆様のご支援に感謝申し上げますとともに、さらに、ご期待に応えられるよう努力してまいります。

私たちが心を一つにすることで、大きな困難を乗り越え、子ども達の未来が明るいものになると信じます。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

認定NPO法人みやっこサポート
理事長 中島 恵美

活動の報告 期間：2021（R3）年1月～12月

☆☆認定NPO法人に認定されました☆☆

2021年4月23日 兵庫県より認定され、
認定NPO法人みやっこサポートになりました。

兵庫県指令第3号の1

NPO法人 みやっこサポート
理事長 中島 恵美

令和3年2月9日付けで申請を受けたNPO法人みやっこサポートの認定申請については、特定非営利活動促進法（平成10年法律第7号）第45条第1項の規定により、令和3年4月23日から令和8年4月22日までをその有効期間として認定します。

令和3年4月23日

兵庫県知事 井戸 敏



子ども・子育て支援

～子どもの楽しい！を創る～

フリースペースIROHA

学校に行かない、行きたくない子ども達が仲間と楽しむ居場所！

活動：水曜日 9:00～16:00（午前午後の二部制）
共催：労協センター事業団、にしのみや子どもと学びネットワーク
人数：のべ 656 名参加



みやっこ食堂

2021年 休止

子どもも大人も、皆と一緒に食べる、地域の食堂！
子ども達の楽しい居場所！

2022年5月20日再開

みやっこ弁当

活動：火曜日 阪急より北配達
金曜日 南東部配達
共催：NPO 法人なごみ
数量：のべ 3,873 個配布

お弁当を食べられる皆さまへ

○お弁当は必ず手洗いしてから食べてください。
○できる限り、電子レンジで加熱してから食べてください。
○アレルギー対応はしていません。アレルギーのある方は、下の表を確認してから食べてください。
○当日中に食べてください。すぐに食べない場合は冷蔵庫へ入れてください。

2021年11月9日（火） みやっこ食堂 弁当献立

品名・分量	アレルギー	卵	牛乳	小麦	大豆	そば	その他
主食	白米						
副菜	煮豚	○	○				大豆（みそ）
副菜	煮魚						
副菜	アスパラガス炒め						
副菜	じゃがいも炒め						大豆（みそ）
デザート	あんぱん	○	○				大豆（みそ）
デザート	プリン						

【アレルギー対応のお願い】
アレルギーのある方は、必ずアレルギーの欄を確認してください。アレルギーのある方は、アレルギーの欄を確認してください。



無料学習教室

小学生から高校生までの子ども達が、楽しく勉強する居場所！

活動：水曜日 17:00～21:00
人数：のべ 139 名参加



IROHAらぼ

学校に行かない、行きたくない子ども達が、好きなことや、興味があることを学ぶ！

活動：火曜日 10:30～12:00 13:00～14:30
人数：のべ 48 名参加



フードパントリー

支援の必要な人に食材提供！
活動：第1火・水曜日 10～20時
共催：コープこうべ
フードバンク関西
実施：18日



交流支援

～地域の仲間・居場所・楽しみづくり～

金曜カフェ

9月より 65歳以上の方対象のカフェをオープン！
絵画や歌などの教室や外出も楽しみました！

活動：金曜日
参加：のべ 92 名



TERAKOYA にほんご

日本に住んでいる外国人の方を対象に、日本語や日本の文化を学びながら交流！

講師：名谷有子、北村庸子
木谷久代
活動：第1・3土曜日
参加：のべ 7 名



地域交流スペース

地域交流スペース『つどい 西田公園前』は、コロナ感染防止のため休止しました。

手話研究会

過去の岡本かおり先生の手話教室の動画で学びました！

参加
のべ 4 名



2022年度～

今年度から始まった事業及び変更のあった事業は次の通りです。

■社会福祉振興助成事業（WAM 助成）「コロナ禍における生活困窮者及びひきこもり支援に係る民間団体活動助成金」をいただき、下記の事業を4月から拡充しました。

【孤独のないまちをつくるプロジェクト事業】

- ・『フリースペースIROHA』（学校に行かない子ども達の居場所づくり）
開催日を週1回（水曜日）から、週2回（月・水曜日）に増やし
半日利用から一日利用に変更しました
- ・『IROHAらぼ』（学校に行かない子ども達の学び）の教室を増やしました
教室：衣装、陸上、ボードゲーム
2022年6月～ 英会話、カーデザイン、プログラミング、ギター＆絵画
- ・『相談支援』：月・水曜日に他の団体、専門職の方との協働による相談窓口を
設けました

毎週水曜日開催！

 **山田幼稚園**



**対象は、小学生～高校生
来る時間、帰る時間は
自由だよ！**

いろは

フリースペースIROHA

学校に行きたくない君へ
おもいっきり遊んだら まったりしたり
そんな楽しい＆ゆる〜い場所がIROHAです♡

場所：近鉄スペース SUN-TA（西田町6-3）つぎナカタ公園前
定員：15名
日時：月曜日・水曜日 9:00~15:30 の好きな時間にきてね♡
予約：5人づつ1日
料金：1日利用 1,000円 半日利用 500円 昼食 100円(食べる人のみ)
※高学年にとってはほぼ無料の料金がかります
●参加される方、商売が必要なのは、前日までにご連絡ください。
当分前になれないなどの変更はOKです。
●必ずお茶を淹れてください。遊び時間もより長い方、休みの悪い日は参加できません。
●おきまりは、各自家産のお持ち込みをお願いいたします。

申し込み

- ホームページ [参加の申込方法](#) から申込み
- 電話で申し込み 受付時間は 平日休日は毎日10時〜16時

認定NPO法人いろはとつながり会
〒470-0191 岐阜県津市南川井字1丁目
TEL 0798-81-5301 FAX 0798-81-5302
E-mail tsumitrap@iroha.jp
HP <http://www.iroyase.net/>

[お問い合わせはこちら](#) [会員登録](#)

主催  **みんなのサポート** **共催** にのみや子どもと学びネットワーク

■日・月・火曜に活動時間が決まっています

[illegible]

月・水・金曜日 開催!

おやつ教室の

相談の窓口



日 時：月曜日 10:00～12:00 総合相談 担当 篠原
13:00～15:00 総合相談 担当 中嶋

水曜日 10:00～12:00 不登校に関する相談 担当 青木
13:00～15:00 総合相談 担当 中嶋

※担当都合により変更することもありますので、ご了承ください

所 用：ツツシヤ西田公園前（西田町6-4 泉川町らいたる）

料 金：無料

申込：お電話にてお気軽に申し込みください♥

個別相談が必要な場合は、ホームページの「お問い合わせ」のフォームから、氏名、連絡先、希望日時等を送信ください



相談希望者へお話し

社会福祉士であり、幼稚園教諭と児童福祉士、相談員、児童福祉司経験、児童福祉見学の資格としております。

今度よりスーパーコンピュータセンターの2Fに、お話を伺える窓口として設けています。

お話しできるのは
julin 氏
みづから? 氏
です!

おかしな人々?

お話を伺える相談員

25歳から、28歳までの子供、2人から3人まで相談があります。

平日は、お話を伺えることができます。

相談はツツシヤの2Fにて行ないます。

幼稚園・保育園等でお話する、お話を聞いてもらえる場所でもあります。

お話しできるのは、
お話しできるのは
ヒゲダンニャウ
です!

中島先生お話し

社会福祉士経験1年と、事務や総務管理として参りました。

平成28年度に「NPO法人未来創造」の事務総務及び会計士として参ります。

お話しできるのは、
インターネット
で相談できます。

お話しできるのは、
中島先生です。

お話しできるのは、
NARUTOが大好きです!

認定NPO法人みやっこサポート

〒676-0051 大阪府西田町6-4 泉川町らいたる1F

TEL 0798-81-5301

E-mail kuma@miyako.net

HP <http://www.miyako.net>

※お申し込みは、お電話にてお願いいたします



主 催

みやっこサポート

にのひろ子どもと学びネットワーク

共 催

■コープともしびボランティア復興財団

「やさしさにありがとうひょうごプロジェクト」助成金をいただき下記の事業を開始しました。

【すべての人が暮らしやすいまちをつくるプロジェクト】

- ・金曜カフェ：高齢者の方々の居場所づくり
- ・生活サポート：有償ボランティアのサポーターによる家事や困りごとのサポートなど家族代行サービス
- ・みやサポスポーツ：山登りなどのスポーツを通じてコミュニティをつくり、相談しやすい環境をつくる

歌と絵画の教室はじまります！

65 歳以上の方の

みやサボ **金曜カフェ！**

❖すべてお菓子がつきます❖

- 焼いてたて！ 珈琲
- オーガニック・ティー
- 抹茶

付き添いの方は
65 歳以下でも OK！



日 時： 金曜日 喫茶 9:30～14:00 各教室 13:00～

場 所： レンタルスペース SUN-TA
(西宮市西田町 6-3 風川サンいっす)

参加費： 喫茶 500 円 各教室 1 回 500 円+材料費
持ち物： ありません 手ぶらでお越しください

第 2 金曜日

「歌をうたおう」

2/11、3/11



第 3 金曜日

「絵を描こう！」

2/18、3/4～3/14



●新型コロナウイルス感染症予防として、透明のパーテーションを置き
プラスチックコースターで置き物を消毒しています。

●感染の状況により、開催の変更もありますのでご了承ください。

お問い合わせ



みやサボ

〒662-0034 西宮市西田町 6-4 風川サンいっす

TEL 0798-81-5301

HP <http://www.miyasabo.net>

みやサボポイント





今回は、けいれん発作を繰り返す『ドラベ症候群』という難病と闘ってきたキヨ君とご家族を支えたボランティアさんのお話です

生後4ヶ月頃から、けいれん発作を繰り返す「ドラベ症候群」という難病と闘ってきたキヨ君とご家族。お母さん、お兄ちゃんにお話を伺うなかで、家族の支えとなったボランティアさんと犬のてんちゃんのお話が何度となく出てきました。

人生の困難に向き合うときには何が必要か？
ここに大きなヒントがある気がします。

その名前が話にでただけでもご家族は笑顔になる。そんなボランティアさん自身はどんな思いで関わってこられたのか？今回は、ボランティアの「博士」と船岡葉月さんにお話を伺いました。



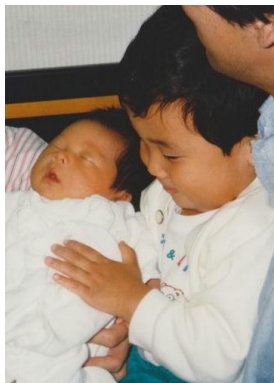
【キヨ君のご家族のお話】

キヨ君は現在28歳。お父さんお母さん、そして兄の将基（まさき）君の4人家族です。

キヨ君が初めて発作を起こした生後4カ月から3歳ごろまでは、お兄ちゃんの幼稚園を辞めさせ3人で家にこもるなど、キヨ君が発作を起こさないよう細心の注意を払って生活していました。

4歳の誕生日を迎える前、キヨ君は脳症を起こし重篤な状態になります。そしてその時お父さんお母さんは「キヨ君がもう1回起きてくれたら、次はもっと病気をオープンにしていろんなところに連れて行こう」と決心します。

幸いキヨ君は一命をとりとめ、この時から林家の生活は大きく変わっていきます。発作を怖がらずに外に出て、我慢せず自分達のしたいことをしようと。



そんな林家を支えたのが犬のてんちゃんとボランティアの「博士」こと船岡葉月さんでした。

【お母さん談（みやサポ通信 vol7 より）】

「船岡さんはすごいおもしろい子で、家がすごく明るくなって・・・。

その頃ちょうどお仕事辞めて時間あるからって来てくれて」「家族旅行に行っても、私らキヨ君に構ってしまっ、この子（兄のまあ君）楽しめないから一緒に行ってくれる？」とか、「〇〇行きたいんやけど行ってくれる？」って聞いたら、「はい、いいですよー！」って一緒に来てくれて。

私もその子と喋ったらおなか痛くなるぐらいおかしくて、お兄ちゃんの気持ちをほぐしてくれて。ご飯食べに行ってもね、うちだけだったら「キヨ 恥ずかしい」とか言いだして、「そんなんやったらもう家族で食べに行くの止めよ！」とか「帰ろう！」って途中で何回も帰ってたけど、彼女が一緒に行ってくれた時は、皆最後まで笑ってるよね。旅行とか行ってもすごい楽しんで、ケンカにならないで笑って帰れる。



【ボランティアの船岡葉月さんのお話】

『ボランティアのいきさつ』

私が林さんのお家にボランティアに行っていたのは、24年前、キヨ君が4歳、お兄ちゃんのまあ君が小学校1年生だったと思います。

それまではコンピューター関連の仕事をしていたのですが、コンピューター相手より人と関わる仕事がしたいと思って20代半ばで退職し、経験になればとボランティアセンターに登録していたときでした。

ボランティアセンターでは、登録の時になんでも出来ること書いてって言われて、習い事をたくさんしてきたのでそれを書いたんです。そろばんとかピアノとか、ピアノは4歳から高3まで習ったので。そしたら、脳の障がいがあるお子さんで、指を動かすのがリハビリになるので、ピアノ



を教えるボランティアはどうかと言われて、訪問したのがキヨ君の家でした。

毎週行っていたかな？ 教えるってほどのことではなくて、一緒にピアノの音をならして、でもキヨ君はすぐ飽きちゃって、ビデオを見たり他の遊びを一緒にしたり。そのうちだんだん「ご飯食べて帰り」とか言ってもらって。泊めてもらったりもしました。家族の一員、親戚のお姉ちゃんみたいな感じ。

キヨ君だけじゃなく、お兄ちゃんのまあ君と遊んだり、小学校に迎えに行ったりもしました。



まあ君が、キヨ君の入院の際に人の家に預けられることが多くてチック症状がでていたという

ことは、みやサポ通信を読んで初めて知りました。そうやったんか・・・と。

当時はチックには気づいていなかったけど、ストレスをかかえている感じで心配になったことはあったかな。まあ君が、楽しく遊んでいるとき突然お母さんに対して怒り出すことがあったりして。私も若かったから、寂しいからとはわからなかったけど、しんどいんかな？って思って、まあ君といっしょに外に行ったり、公園にいったりしました。でも関わってこういう感じではなく、気負わず自然に普通に遊んでただけ。子どもやし、いろんな気分があるやろ、お母さんやから言えることもあるやろ、って思ってました。



『林家について』

自分の中では、林家は「明るい家族」のイメージ。お母さんはどんどん道を切り開いていく人。幼稚園にしても小学校にしてもキヨ君が通えるようにどんどん働きかけていく。

昔はカーテン閉めてひきこもってたっていう話を聞いたりもしたけど、私の中では、笑いの絶えない家でした。家に泊まりに行ってもずっと私笑ってた。お母さんと夜中ずっと笑いながらしゃべってました。いろんなことを跳ね飛ばす明るい家族でした。





旅行も楽しかった～。一緒にいってくれる？って言われて、躊躇なく「いいんですか？すみません～」(笑)

グリーンピア三木とか行きました。

家族だけで行ったときにけんかになって帰ることがあったという話も知らなかった。一緒に行っ

て、楽しかった記憶しかない。普通に家族の一員って感じで違和感なく、海にも一緒に行ったし、公園、ボーリングにも行ったし。

ボランティアとか、助けた感覚はまったくないです。ほんとに遊びに行ってきたね(笑)

なので、しんどいとか思ったことはなかった。

キヨ君が、あめ

ちゃんを舐めててそれを人にあげるのがブームのときがあって、まあ君はうえ～って感じでダメだったんだけど、私はまったく平気、めっちゃわらせる～と思った記憶が(笑)

しんどいことはしてないし、やめようと思ったこともなかったなあ。遊びに行ったら楽しかった記憶しかない。すごい楽しい家族さんで、お父さん穏やか、お母さん面白いし笑顔、キヨ君まあ君もかわいらしい。いやなことはまったくなかったです(笑)

林家でのボランティアはそんなに長くはしていなくて、遊びに行くときだけ一緒に遊びに行ってい



たのかな。その後結婚して子どもができて関わりが少なくなってきたんですけど、年賀状は今もやりとりしてます。

今も家族の一員のような気持ちでいて、結婚して離れた実家のような存在。久しぶりに会うと実家に帰る感覚、お母さん変わってないなあって(笑)



『キヨ君と今の仕事』

今私、障がい者の相談支援専門員として支援センターで働いています。

子どもが生まれてから仕事はやめてたけど、上の子が小学校に入ってからまた仕事を始めて、盲ろう者通訳の仕事を4年、そのあと相談支援の仕事、今で4年くらいかな。

キヨ君のところで過ごした経験の続きのような感じで、私の人生みんな繋がってますね。

今も思うのが、あまりキヨ君を障がい者と思っていない。障がいというよりは個性。多かれ少なかれみんなが個性としてあるもので、生きていくために支障がある場合にはサポートを受ける。そこは今も昔も変わらないです。自然な感じ。みんないっしょやと思っている。

仕事で、発達障がい児童のお母さんたちにもそれを言っていて。昔は発達障がいって言葉もなくて、ただのがちゃがちゃ落ち着きのない子。グレーの人はグレーのまま大人になっていて、昔は大人になったら治ると思われてたけど、今は、生まれつき脳の働き方に違いがあるとわかっていて、治ったように見えたのは、自分の中で解消方法を見つけられただけで、治ったわけではないんです。なので障がいというよりは個性。周りが個性を受け入れて、住みやすい世の中になってくれたらいいなと思う。

この、特別なことではないという感覚は、キヨ君ちから始まっているように思います。

今の仕事は、自分の体と心が元気でないとできない仕事。自分が弱っていると、相談者さんの負のことを聞かないといけないので、サポートは難しい。そこは気を付けていて、あまりストレスをためないようにしています。

自分はストレスのたまらない人、ストレスを感じにくい人やと思ってたんですけど、実は上の子の出産のときに産後鬱になってしまって。母乳育児で夜ずっと寝られなくて、明け方空が明るくなると意味もなく不安で泣けてくる。ストレスに縁遠い人間と思っていたのになるんやなあ、だれでもいつでも起こることなんやなって。

特別なことじゃない、意志が弱い、性格が弱いじゃない。自分は大丈夫と思っていてもなる。ホルモンのバランスってこわいなあ(笑)

なので、風邪ひいたから風邪薬、胃が痛いから胃薬みたいに、脳が疲れているから薬を飲みましようって。特別なことではないから、無理せずいろんな人にサポートに入ってもらって助けてもらったらいいと思うんです。

今の相談支援の仕事、コロナもあって精神疾患の人がすごく多くて。特別なことじゃない、だれに

もなりうることだから、我慢しないで助けてほしいと言ってほしい。言ってくれないと気づけないから。

振り返って・・・

今やったらもっといいボランティアできたかな？自分にも子どもがいるから、もっとまあ君の心にも寄り添って、もっといいかわりができたかな？

でもあのときはあのときで、あのときだからできたこともあった。若くて体力もあったし、走ったり遊んだり、いろんなこと全部一緒にできた。そういえば、バンジー飛んできてって言われて、私だけ飛んだこともあります。みんなは下から見ていて、あれ？私一人？(笑) そんなんばかり、楽しい思い出しかない。

今仕事も楽しいしかないです。いろんなことが毎日起きて、人生 100 倍楽しい。私が生きているだけでは経験できないことを、相談者さんをサポートすることで経験できる。人生何倍も楽しめる、楽しいしかない(笑)

2022 年 6 月 27 日 聞き手 中島 恵美
ライター 中川 智子



ぽっかぽかランナースは、大阪マラソン 2023 のチャリティパートナー(寄付先団体)に選ばれました！

■チャリティランナーの申込

■ファンドレイジング(2022 年 9 月 1 日開始)

で応援してください！

【お問い合わせ TEL 080-5333-4728】



今回も「障害年金」の事例をお話します。ひきこもりになってしまい働くことができず収入がないため障害基礎年金を請求し、2級の年金を受給されている35歳男性のお話です。

■引きこもりの方の、障害基礎年金受給事例

この方は、中学高校までは問題なく過ごし、部活動にも積極的に取り組んでいました。大学に進学してサークルにも所属し順風満帆に見えましたが、大きな挫折に直面しました。ゼミでの発表がうまくいかず、やり直しが続き、自信を喪失してしまいました。次第に大学に行けなくなり、計画していた旅行にも行けず、友人との交流もほとんどできなくなりました。卒業ができず、家族との交流すらなくなり、自室に引きこもる日々が続きました。そして10年以上経過し、現在も引きこもりの生活が続いています。両親の年金で生活していますが、両親も高齢となり、いずれ単身となれば収入がなくなります。10年にわたってご両親はこの方を支えてきましたが、今後のことに強い不安を抱くようになり、何らかの支援は得られないものかと考えられました。この方の場合、ご両親が市の担当課に相談したことで医療機関と繋がりました。外出が難しいため医師による往診を受け、障害年金の申請へと歩みを勧めることができました。スムーズに障害基礎年金の申請手続きをすることができ、無事に2級の認定を得ることができました。そして現在も、障害基礎年金2級を受給しながら生活を送っておられます。

・・

引きこもりとは、仕事や学校に行けず家に籠り、家族以外とほとんど交流がない人の状況を指し、厚生労働省は、こうした状態が6か月以上続いた場合を引きこもりと定義としています。ある調査では、年齢別では40代が最も多く、次いで50代、30代となっているそうです。この年代は、ずっと仕事を続けている方にとっては最も働き盛りの年代ですが、これから新たに仕事を始めるには難しい年代です。そんな方たちの社会復帰の足掛かりとして、障害年金を請求することができます。障害年金は、生活保護とは違い、働きながらでも受給することが可能なケースがあります。生活資金の一部として障害年金を受給しながら、簡単な仕事や短時間の仕事を始めることができれば、社会復帰の大きな一歩になるのではないのでしょうか。

引きこもりの方の障害年金受給事例を紹介いたしましたが、上記の方のご両親は、市への相談だけでなく、根気強く声掛けをされていました。返事がなくても「おはよう」「おやすみ」といった声掛けを続け、今もこの声掛けは継続されています。年金の受給決定で解決するものではなく、こうした家族の取組みが最も重要なのだと感じました。

☆ 障害年金とは

障害年金は、怪我や病気が原因で精神や身体に障害を負い、労働や日常生活に支障のある方に支給される制度です。障害者のための生活保護のような福祉・手当と誤解されがちですが、老齢年金などと同じ公的年金のひとつです。したがって、障害年金を受給することは、老後に支給される老齢年金をもらうことと同様に、国民として当然の権利なのです。

☆障害年金の等級について・・・

障害年金には、「**障害基礎年金**」と「**障害厚生年金**」があります。

重い方から 1級・2級・3級（障害厚生年金のみ）となっています。

西宮をあるく 夙川カトリック教会 土井 久美子

夙川駅を降り山手幹線の手前を南西へ、線路と並行する古くからの坂道をしばらく登っていくと左手に夙川教会があります。以前は地域のランドマークともいべき存在だったのですが、周囲にビルがたくさんたち、大きな教会もそのなかに埋没してしまって、どこからでも見えるというわけではなくなっています。

夙川教会は大正 12 (1921) 年に西宮の札場筋に阪神間初のカトリック教会として誕生し、大正 10 (1921) 年に現在地に移転し仮聖堂が建立され、昭和 7 (1932) 年に、現在のゴシックリヴァイヴァル様式の建物が梅木省三氏によって建てられました。

ゴシックといえばケルンの大聖堂など、天に届くような尖塔を持つ巨大な大聖堂が思い浮かびますが、こちらの教会は日本の戦前の建物であることから、ヨーロッパの大聖堂に比べると小ぶりで、いわばフランスの村の教会堂といった風情があるように思います。

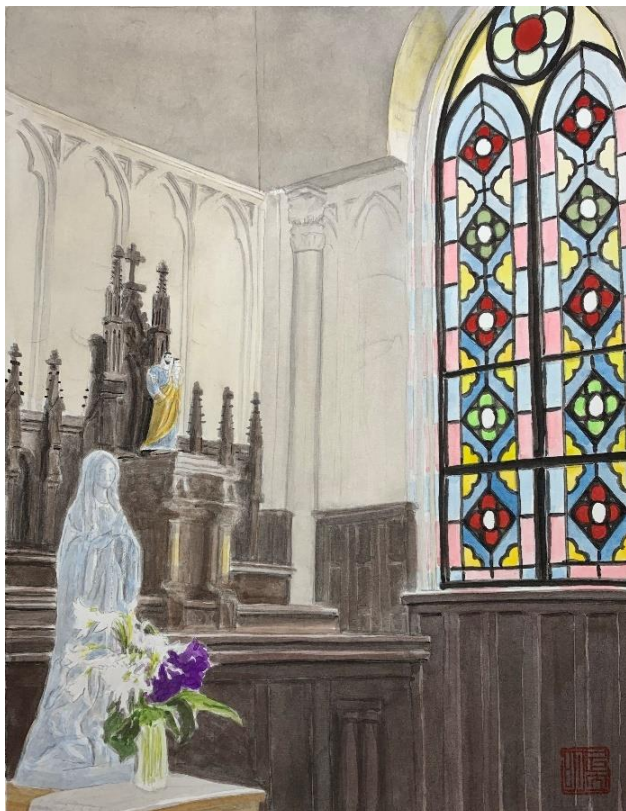
教会が夙川にできたのは、奇しくも阪急神戸線が開通し、夙川駅ができた大正 9 年 (1920) の直後にあたります。この頃、都市の雑踏を避けて大阪と神戸の中間にあたる郊外住宅地が阪神間に流行ったこと



『夙川カトリック教会』 絵:足立 明

から、国鉄、阪神に続いて、阪急電車が敷設され、沿線は住宅地として開発されていき、今とは違ってのどかな田園地帯、海山に隣接する空気のよい住宅地ができあがり、たくさんの人が移り住んできました。教会はその後戦禍を経て残り、今にいたっています。

夙川教会について記す時、忘れてはならないのは、遠藤周作 (1923-1996) と須賀敦子 (1929-1998) などの作家たちです。特に前述の二人は教会に縁が深く、夙川やカトリックの信仰を題材にした小説や随筆を書いています。教会は日曜日にはミサがあり、たくさんの信者が訪れます。なかでもクリスマスのミサは外まで人があふれるほど賑わい、荘厳な趣があります。皆様もぜひ一度ご訪問くださいませ。



みやサポ通信のこの素敵なコラムは、土井久美子さんと足立明さんのお力添えで、ここまで続けることができました。

温かな西宮愛に、心から感謝申し上げます。

活動へのご協力を、お願いいたします

皆さんの「自分にできることをできるだけ」が必要です

ボランティア活動へ参加

■ボランティアで参加！

- ・フリースペースIROHA（不登校の子ども達の居場所）で、遊んだり、子ども達に寄り添い、一緒に過ごすボランティア
- ・みやっこ食堂(こども&おとな食堂)の、調理や配膳のボランティア
- ・無料学習教室で学習サポートのボランティア ※2022年9月現在休止中

ホームページの **ご意見・お問合せ** に
メッセージをいただくか
直接電話にてお問合せ下さい

学生ボランティアも歓迎！



活動へのご寄付

法人へのご寄付は、税制優遇の対象となります

- 個人でご寄付された場合、寄付金額の最大約 50%が減税になります
- 法人で寄付された場合、法人の損金算入限度額が拡大されます
- 相続した財産を寄付すると、その分は相続税が非課税になります

【寄付の種類】

- 賛助会員：毎年、年間 3,000 円の会費を払い応援する会員
- ご寄付(都度寄付)：ご自分が寄付したい金額を、したい時にするご寄付
- ご寄付(継続寄付)：毎月引き落としで、定期的にするご寄付(1,000 円～)
- ご寄贈：お米など、消費期限の長い食材でするご寄付

お申込みはこちら

- 当法人ホームページ **ご寄付・賛助会員の受付** にて
<https://www.miyasapo.net/support/>

- 直接事務所へ

当法人事務所へ、お電話いただき（0798-81-5301）
平日のAM10:00～PM16:00にお越しください

住所：西宮市西田町 6-4 夙川サンらいふ（阪急高架下）

ホームページ



寄付

